第５５回愛媛県スポーツ少年大会ソフトボール競技
競技規則

１　スローピッチ競技規則

（１）投球（投捕間は８ｍとする　※ミニソフトボールに順じて）

①　身体の前面で球を両手で持ち２秒以上完全に停止する。

②　投球は適当なスピードで打者の頭上の高さでアーチを描くように投げなければならない。そのスピードと高さについては審判員の判断による。

③　ストライクゾーンは打者が自然なバッティングスタンスをとっている時、打者の投手側の肩から両膝の本塁上の空間をいう。

（２）打撃

打者が投球をバントした時及びチョップトヒットした時はアウトとなる。

（３）走塁

①　盗塁は認められない。

②　打者が打った時以外は離塁できない。但し、送球が境界線を越えた時は１個進塁させる。

（４）審判

審判は帯同審判（審判資格は不要）にて行うこと。

（５）その他

１回の攻撃は１０点まで。（１０点取れば、アウトカウントに関係なく攻守を交代する。）

２　ソフトボール競技の勝敗優先順位について

（１）勝ち数の一番多いチーム

（２）勝ち数が同じ場合の優先順位

①　失点の一番少ないチーム

②　得点の一番多いチーム

③　得失点差の一番多いチーム

３　監督会議連絡事項

①　試合毎に２名の帯同員を出し、うち１名は塁審に１名は試合時間の計測・得点表の記入・試合球の管理を行う。試合終了時に得点表を本部へ持参する。

※スローピッチの部は、試合ごとに３名の帯同員（帯同審判２名・計測等１名）を出すこと。

②　ファウルボールは各ベンチで拾って試合球の管理者まで持参する。

③　塁ベースは全て固定してある。

④　メンバー表はダイワのもので、３枚複写で提出のこと。

⑤　ファーストピッチの部は、球審・１塁審は協会の審判員で、２塁・３塁はゲームを行っている両チームから１名ずつ出る。(資格ありの方が望ましい)

⑥　初めての試合前には５分間のノックを行う。